

令和7年度（前期）

舞洲工場アルミ屑（不純物含む）売払（単価契約）

仕様書

1 売払概要

本売払は、回転式破砕機で破砕した不燃性粗大ごみの中からアルミ選別機及びアルミ精選機にて選別回収したアルミ屑（不純物含む）（以下「アルミ屑」という。）を売払うものである。なお、不燃性粗大ごみ処理フローは別図のとおりである。

2 売払品名

アルミ屑

3 履行期間

令和7年4月1日 ～ 令和7年7月31日

4 引渡し日時

- (1) 原則として、引渡し日時は月曜日から土曜日の午前9時30分とする。
- (2) 当工場の稼働状況等により引渡し時間を変更する場合は、当工場係員より連絡する。
なお、引渡しを変更する時間帯については、午前9時～午後4時とする。
- (3) 道路交通事情等により来場が遅れる場合は、引渡し日の破砕設備の運転に支障をきたすため、わかり次第、速やかに当工場に連絡すること。

5 回収金属の発生量

概 数 アルミ屑 12 t

6 履行場所

舞洲工場破砕設備（TEL06-6463-4153）

7 作業仕様

- (1) 契約後直ちに当工場計量器（幅 3.0m×長さ 10.5m）にて計量できるトラックを登録車と定め、車検証の写し及び車両の写真（正面、側面各1枚）を1台ごとに1部ずつ提出すること。なお、登録車については、貯留ヤードの構造上の制約より、荷台基準容量 24m³・荷深さ 1.4mを確保でき、貯留ヤードシャッターの高さが 3.8mであるため、貯留ヤード進入や積み込み時に建築物等に対して接触する恐れのない車両を選定すること。また、当工場計量器は秤量 30 t であるため、車両の選定は計量器の計量限界 30 t を超えないこと。また、トレーラーの使用は認めない。
- (2) 最大積載量の遵守等関係法令及び諸規則を遵守すること。
- (3) アルミ屑の搬出配車連絡は、配車依頼書を前日の午前までにFAX又はメールで送付し、配車完了後に送付した配車依頼書の確認欄に記名等をして返信をすること。
- (4) アルミ屑の発生量は破砕設備の稼働状況により変動がするため、急遽の配車依頼・キャンセルする場合がある。
なお、アルミ屑の引渡しの対応については、破砕設備の稼働に支障をきたさないよう当工場係員の指示に対応出来る体制とすること。
- (5) 工場内は、ごみ収集車や薬品搬入車両、工事車両などが搬入路を走行しているため、アルミ屑の搬出にあたっては、場内を徐行し事故やトラブル防止に努め、当工場係員の指示に従うこと。
- (6) アルミ屑の搬出にあたっては、搬入路を走行している車両や既存施設等に損害を与えないよう注意すること。なお、万一損害を与えた場合には、直ちに買受人の負担に

て対処すること。ただし、この対処により、売払人等の損害賠償が妨げられるものではない。

(7) アルミ屑は、施設稼働後に貯留ヤードの貯留バンカ1基（アルミ貯留バンカ約14m³×1基）及び貯留ヤードに貯留され、積み込み作業は事前に当工場係員の指導・研修を受けた後に買受人が現場操作盤にて各バンカの開閉操作をして積み込みを行うこと。また、各バンカや現場操作盤の取り扱い不備による人身事故・物損事故等の対応及び修理については、当組合は一切関知しないのでその旨承知しておくこと。

なお、積み込みにあたり、付近に飛散した鉄屑等は清掃をすること。

(8) 積み込み作業とは、貯留ヤードにトラックを進入し、各貯留バンカ及び貯留ヤードからのトラックへの積み込み作業及び積み込んだトラックが貯留ヤードを退出するまでの作業をいう。

(9) トラックへの積み込み作業には、必要に応じて当組合のショベルローダーを貸与するので買受人にて運転し積み込み作業を行うこと。また、ショベルローダーの運転は、有資格者（ショベルローダー等運転技能講習修了者）が行う。なお、ショベルローダー整備期間中の対応については買受人にて代車を用意すること。

(10) アルミ屑積み込み前後のトラック計量は、当工場の計量器で行うものとする。（来場時は空車にて来場のこと）。引取量は、計量後に発行される伝票にて積込数量を確認し、異議がある場合は引取日当日に申し出ること。なお、申出がなかった場合、積込数量にて引取量とし合意があったものとみなす。

(11) 売払代金は、アルミ屑積み込み後のトラックの総重量からアルミ屑積み込み前のトラックの自重量を差し引いた実重量に契約単価を乗じた金額（消費税及び地方消費税額含む）とし、随時、月単位で請求する。

(12) 本仕様書に明記のない事項でも、本業務上必要と認められるものは、当工場係員の指示により買受人において実施すること。

9 その他

(1) 応札にあたり、現場確認（机上、現場説明会等（本組合の指定日））のうえ、本仕様書の内容を十分把握しておくこと。

(2) 契約後における本仕様書の疑義については本組合の解釈とする。

(3) アルミ屑については、排出量及び純度（重量比較）の増減がある。排出量及び純度の増減を理由とした契約解除、契約単価の変更及び損害賠償の請求をすることはできない。

暴力団等の排除に関する特記仕様書

1 暴力団等の排除について

- (1) 受注者（受注者が共同企業体であるときは、その構成員のいずれかの者。以下同じ。）は、大阪広域環境施設組合契約関係暴力団排除措置要綱（平成 26 年制定。以下「要綱」という。）第 2 条第 4 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）又は同条第 5 号に規定する暴力団密接関係者（以下「暴力団密接関係者」という。）に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をしてはならない。
- (2) 受注者は、要綱第 2 条第 8 号に規定する下請負人等（以下「下請負人等」という。）に、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をさせてはならない。

また、受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者と下請契約、資材・原材料の購入契約又はその他の契約をした場合は当該契約を解除させなければならない。
- (3) 受注者は、この契約の履行にあたり暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から要綱第 13 条に規定する不当介入（以下「不当介入」という。）を受けたときは、速やかに、この契約に係る本組合監督職員若しくは検査職員又は当該事務事業を所管する担当課長（以下「監督職員等」という。）へ報告するとともに、警察への届出を行わなければならない。

また受注者は、下請負人等が暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者から不当介入を受けたときは、当該下請負人等に対し、速やかに監督職員等へ報告するとともに警察への届出を行うよう、指導しなければならない。
- (4) 受注者及び下請負人等が、正当な理由なく本組合に対し前号に規定する報告をしなかったと認めるときは、大阪広域環境施設組合競争入札参加停止措置要綱による公表及び停止措置を行うことがある。
- (5) 受注者は第 3 号に定める報告及び届出により、本組合が行う調査並びに警察が行う捜査に協力しなければならない。
- (6) 発注者及び受注者は、暴力団員又は暴力団密接関係者に該当すると認められる者からの不当介入により契約の適正な履行が阻害されるおそれがあるときは、双方協議の上、履行日程の調整、履行期間の延長、履行内容の変更その他必要と認められる措置を講じることとする。

2 誓約書の提出について

受注者及び下請負人等は、暴力団員又は暴力団密接関係者でない旨の誓約書を提出しなければならない。ただし、発注者が必要でないとは判断した場合はこの限りでない。

コンプライアンスに係る特記仕様書

(条例の遵守)

第1条 受注者及び受注者の役職員は、本契約の履行に際しては、「職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例」(平成27年条例第5号)(以下「条例」という。)第5条に規定する責務を果たさなければならない。

(公益通報等の報告)

第2条 受注者は、本契約について、条例第2条第1項に規定する公益通報を受けたときは、速やかに、公益通報の内容を発注者(大阪広域環境施設組合総務部総務課)へ報告しなければならない。

2 受注者は、公益通報をした者又は公益通報に係る通報対象事実に係る調査に協力した者から、条例第11条第1項に規定する申出を受けたときは、直ちに、当該申出の内容を発注者(大阪広域環境施設組合総務部総務課)へ報告しなければならない。

(調査の協力)

第3条 受注者及び受注者の役職員は、発注者が条例に基づき行う調査に協力しなければならない。

(公益通報に係る情報の取扱い)

第4条 受注者の役職員又は受注者の役職員であった者は、正当な理由なく公益通報に係る事務の処理に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

(発注者の解除権)

第5条 発注者は、受注者が、条例の規定に基づく調査に正当な理由なく協力しないとき又は条例の規定に基づく勧告に正当な理由なく従わないときは、本契約を解除することができる。

(不当要求の取扱い)

第6条 発注者と本契約を締結した受注者は、この契約の履行に関して、発注者の職員から違法又は不適正な要求を受けたときは、その内容を記録し、直ちに発注者(大阪広域環境施設組合総務部総務課)に報告しなければならない。

※大阪広域環境施設組合総務部総務課
(連絡先：06-6630-3185)

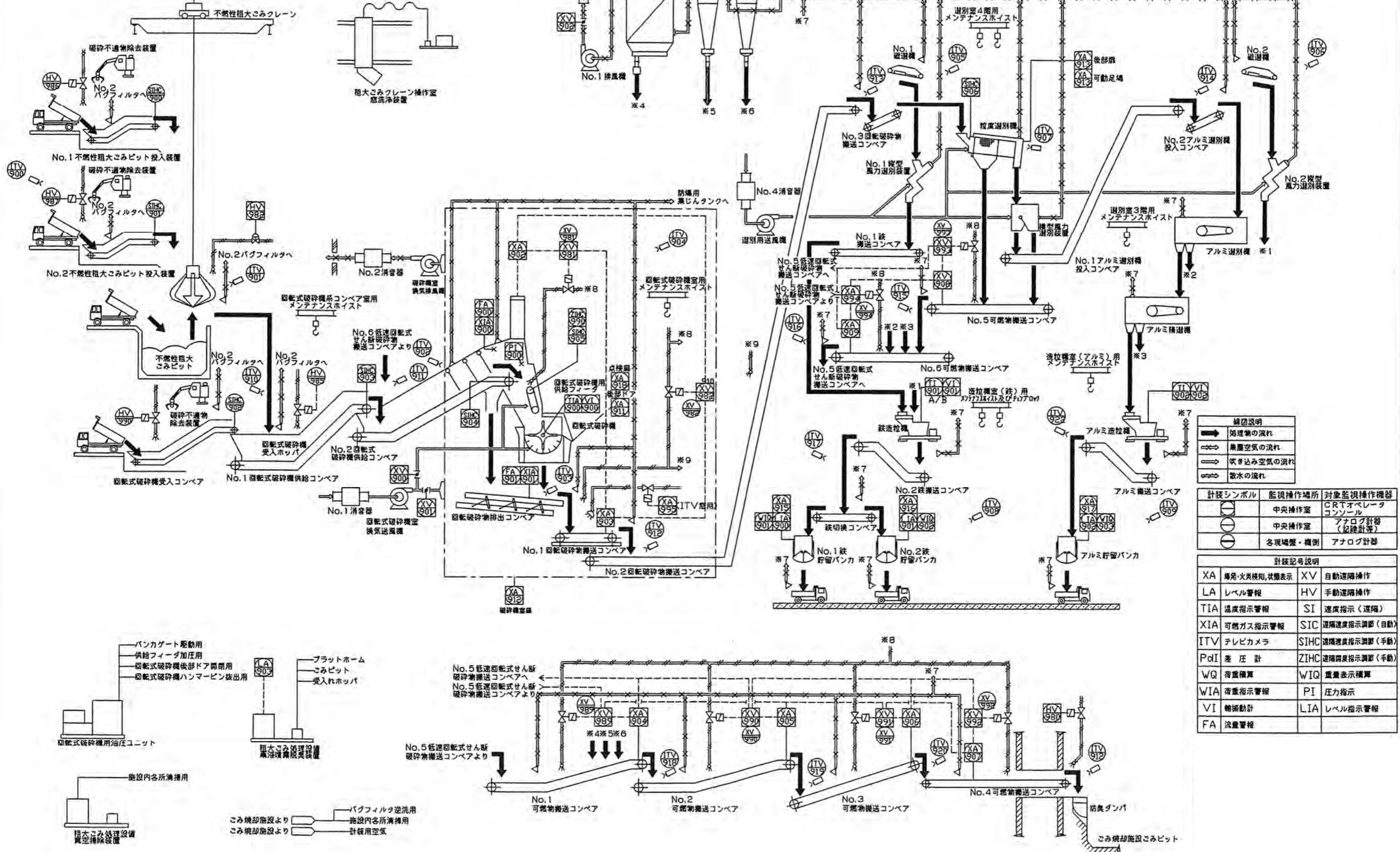
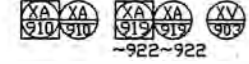
(発注者：大阪広域環境施設組合 受注者：請負者又は受託者)

明細書

(単位：円)

	排出量 (概数)	単価 (税込) (円 / t)	合価
アルミ屑	12t		

赤外線式 煙燻知器 ビット火災遠隔操作弁



線図説明

- 処理物の流れ
- ⇄ 集塵空気の流れ
- ⇄ 吹き込み空気の流れ
- ⇄ 散水の流れ

計装シンボル	監視操作場所	対象監視操作機器
(Symbol)	中央操作室	CRTオペレータコンソール
(Symbol)	中央操作室	アナログ計器(記録計等)
(Symbol)	各現場盤・機側	アナログ計器

計装記号説明

XA	煙燻・火災検知、状態表示	XV	自動遠隔操作
LA	レベル警報	HV	手動遠隔操作
TIA	温度指示警報	SI	速度指示(遠隔)
XIA	可燃ガス指示警報	SIC	遠隔速度指示調節(自動)
ITV	テレビカメラ	SIHC	遠隔速度指示調節(手動)
PdI	差圧計	ZIHC	遠隔速度指示調節(手動)
WQ	荷重積算	WIQ	重量表示積算
WIA	荷重指示警報	PI	圧力指示
VI	回転動計	LIA	レベル指示警報
FA	流量警報		

不燃性粗大ごみ処理フローシート